

訂正版

※訂正箇所は下線部

福島第一原子力発電所の状況

2015年9月28日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (9/28 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約2.6 m ³ /h	26.8 °C	0.5 kPa g	A系： 0.02 vol%
		炉心スプレイ系：約1.9 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約1.8 m ³ /h	32.8 °C	5.15 kPa g	A系： 0.02 vol%
		炉心スプレイ系：約2.4 m ³ /h			B系： 0.03 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約2.0 m ³ /h	31.1 °C	0.25 kPa g	A系： 0.03 vol%
		炉心スプレイ系：約2.5 m ³ /h			B系： 0.04 vol%

<2. 使用済燃料プール(SFP)の状況> (9/28 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	25.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	26.1 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	22.7 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	21.4 °C

※ 各号機 SFP および原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

【6号機】

- ・2015/9/28 使用済燃料プール冷却系の除熱系統である補機冷却海水系について、系統内清掃を行うことから、10:21 に停止。停止時の使用済燃料プール水温度は 25.4°C。その後 11:58 に起動。なお、起動時の使用済燃料プール水温度は 25.4°C。であり、停止時と変化がなく運転上の制限値である 65°C に対して余裕があり、使用済燃料プール水温度の管理上問題はない。

<3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元	→	移送先	移送状況
1号機	タービン建屋	→	1号機廃棄物処理建屋	9/25 17:58 ~ 9/26 9:56 移送実施
2号機	タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	9/25 17:03 ~ 移送実施中
3号機	タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	9/25 17:07 ~ 9/28 6:04 移送実施

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (9/28 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	運転中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<5. その他>

- ・2014/6/2~ 陸側遮水壁工事を開始。
- ・2015/4/30 12:00~ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1~4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- ・2015/5/27~ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- ・2015/9/10~ 海側遮水壁について、鋼管矢板の打設作業を再開。

- ・2015/9/24～ 1号機使用済燃料プール水の浄化作業を開始。
- ・2015/9/28～ 2号機原子炉格納容器内部調査(A2調査)に向けて、X-6 ペネ周りの調査が終了し、小型重機を使用したブロック撤去について、モックアップ試験により工法成立性の目途が立ったことから、ブロック撤去作業を開始。
- ・セシウム吸着塔一時保管施設第二施設に保管されているHICについては、7/22より行っていた2巡目の点検(水溜まりの確認)が9/10に完了し、9/14より3巡目の点検を実施中。2巡目の点検結果については、全685基の点検を実施し、8/19時点で232基の点検を実施時に、新たに2基のHICについて、吸水ブロックに水が染み込んでいることを確認。以降、新たに吸水ブロックに水が染み込んでいることが確認されたHICは認められていない。このことから、1巡目と2巡目の点検で水溜りが確認されたHICは合計で34基。3巡目の点検については、9/24時点で99基の点検を実施しており、新たに吸水ブロックに水が染み込んでいることが確認されたHICは認められていない。また、セシウム吸着塔一時保管施設第三施設に保管されているHICについては、9/24時点で184基の点検を実施しており、新たに水溜まりが確認されたHICは認められていない。引き続き、HICの点検を行うとともに、原因調査を行う。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- ・2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。
- 5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動なし。
- 7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
- 7/28～ 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。

【海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況】

- 【2号機】・2015/6/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約4,500m³の除去完了。7/10 充填完了。
- 【3号機】・2015/7/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約5,500m³の除去完了。8/27 充填完了。
- 【4号機】・2015/4/15～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

【サブドレン他水処理施設の状況】

- ・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
- 9/17～ サブドレン他水処理施設による地下水のくみ上げについて、昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え実施。
- ・一時貯水タンクGの当社および第三者機関による分析結果[採取日9/11]については同等の値であり、運用目標値を満足していたことから、9/28 10:14～15:10に海洋への排水を実施。排水量は715m³。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

【1～3号機放水路の状況】

※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

<K排水路排水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】

＜地下水観測孔サンプリング実績＞

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

＜海水サンプリング実績＞

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

＜地下貯水槽サンプリング実績＞

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上